

●3月上映作品について

「猫が教えてくれたこと」

本日は「猫が教えてくれたこと」高知上映会にご参加いただきありがとうございます。もうお集まりの皆様無類の猫好きであられることは間違いなので、猫の話はよそうかと思いつつも、かと言って上映直前に映画の内容についてネタばらしをするわけにもいかないので、思い悩んだすえにやっぱり猫の話をは…。

ゴトゴトシネマが初めて猫を飼ったのは、たしか小学校に上がるかどうかの頃でした。当時住んでいた佐川の駅のあたりで捨てられた子猫を拾ったんだと思います。「ニヤミー」と名づけました。真っ白なかわいいネコでした。が、うちに拾われて数日、いや数週間後に、私の不注意で事故に遭い、頭と四肢に障害を負った状態になりました。体の動きははぎごちなく、目もアチャとコチャを向いたまま。とても賢い猫でしたが、呼びかけても何も反応が返せない重い症状でした。私の親は、当初この拾った猫をこっそり捨てて行くことを考えていたようですが、この状況を見て最後まで飼うことを決意します。もうなんともならない状態のニヤミーを定期的に病院に連れて行き、面倒を見続けました。立派だったと思います。自分が小学5年生になる頃、借家住まいで飼えなくなり、最後の1年間は祖母が引き取ってくれました。この祖母も立派で、どこでおしっこをするかわからないニヤミーのために、すべての部屋に新聞を敷き詰め、最後まで愛情をかけて面倒を見続けてくれました。ニヤミーが死んだ時の祖母の涙を忘れられません。

思うに動物という野生に接する事は、人にとって何かとても大きなものを与えてくれるような気がしています。「損得」ではなく、「愛情」という、生命の本質的な部分を豊かにしてくれるのではないかと感じています。

うわっちょっと湿っぽくなってますみません！本日は異国情緒豊かなイスタンブールの可愛い猫たちの暮らしぶりを、ぜひゆっくり堪能ください。ご感想をお待ちしております。

●今後の上映作品について

「YARN(ヤーン) 人生を彩る糸」

3月31〜4月1日 @メフィストフェレス

「すばらしき映画音楽たち」

5月12〜13日 @メフィストフェレス

4月上映する「YARN」は昨年の12月に封切られ、まだ全国をロードショーで回っている作品。ビビッドな色合いの毛糸作品の美しさにググッと魅せられ、視聴でググッとまで上映を決定しました。それにしても、編み物がアート作品になるというのは、初めて知りました。ゴトゴトは学生時代、美術研究部という部活に所属しており、油や水彩を経て立体にまで手を出したりして、青年期のほとぼるエネルギーのすべてをぶつけて「ちよっとオーバー」に書いてます。奇妙奇天烈な作品を制作してはいたのですが、まさに登場する4組のアーティスの皆さん、まるで神様に導かれたかのような信念で様々な作品を創造。人間の全身や、人魚の尾っぽや、電柱や、建物や、汽車にまで編み物を施しまくってます。彼女たちのダイナミックでパワフルで美しい編み物アートの世界をぜひ堪能ください。福田わかさんのワークショップは早い者勝ちの様相を呈しております。ご予約お急ぎあれ！



「YARN」から。人魚の尾っぽも毛糸です。

5月もまた、いかした作品の上映が決まりました。ハリウッドを中心に数々の名作に使われた映画音楽がどのようにして作られてきたかを、舞台裏から追った貴重なドキュメンタリーです。ゴトゴトにとっても音楽は映画を見る上でものすごく重要なウエイトを占めており、はつきり言ってどんな内容の映画でも、音楽がありきたりならまったく観る気が起きません。わくわくする映像シーンに、見事な音楽がかぶさり、思わず鳥肌が立つ瞬間。映画好きの方なら何度か体験したことのある感覚だと思えますが、こういう魅力的な瞬間が味わうために私は映画を見ているのだなというも思っております。みんなが知ってる映画がたくさん登場する作品です。名映画音楽の数々を一緒に楽しみましょう！

gotogoto cinema

上映詳細はチラシ、HP、FBにて

●ゴトシネマヒストリー vol. 6

寒風吹きすさぶ中での「網走番外地」!



さて、土佐山桑尾公民館第一回上映。「網走番外地」を演目に決めたゴトゴトシネマ。チラシをシコシコ作り、地域の皆さんの家を回りました。反応はすこぶる良く、「頑張つてよ」「え、なんでこんな事できるが」「ほんまににただでえいが」と地域のじいちゃん、ばあちゃんに大好評。その期待に応えるべくリハーサルにリハーサルを重ね当日に備えました。

で、いよいよ2015年12月13日、上映当日集まってくれたお客さんは6人! それもその日の朝、地域の出役があったので一人一人に「今晚来てくださいよ」と声をかけ一本釣りの面々ばかりなり…。るるる。

たぶん皆さん「前田さんはりきつちゅうし、しょうがないな」という感じでわざわざ来てくれたのだと思います。よくよく考えれば、家には大きなテレビもあるし、ツタヤで好きな映画借りて見れるし…。需要がなかったんですね…。トホホホ。それでも、いやいやでも来てくれたおんちゃんらあに伝えるべく、頑張つてやりました高倉健! 「網走番外地」!

12月の寒空の元、立て付けが悪くすまみ風がヒューヒュー入ってくる土佐山桑尾公民館、画面の中は最果ての地・網走の一面の雪景色! 心と体の芯まで冷え込むトゥーワールドな90分。唯一、移住仲間が沸かしてくれた熱燗だけがホットで、五臓六腑に染み渡りました。

そんなもって、後日エールを送ってくれつつも来てくれなかった皆さんに尋ねてみると「いやあ、実はヤクザ映画嫌いだね」「みたいな声がちらほら。番外地はヤクザ映画じゃないですよ、残念だなく」とか言いつつ、「な〜んだそういう訳だったのね」と皆さんの話を真に受け、懲りずに次の演目をリサーチし始めるゴトゴトシネマの姿がそこにはありました。さて、第二回目の演目やいかに!? 集客やいかに!?